

対象国の条件:

研修コース番号:201984914-J002

案件番号:201984914

主分野課題:環境管理/その他環境管理

副分野課題:

使用言語:英語

**案件概要**

2013年に採択された水銀に対する水俣条約は、その締約国に自国の水銀の現況や対策実施状況の報告を求めている。しかし、アジア太平洋の多くの国では水銀のモニタリング体制が整備されておらず、環境実態を把握できていない。本研修では、実際の分析機関にて実用的なサンプリング・分析手法習得し、帰国後に自国にて水銀モニタリングの実施を支援するとともに、アジア太平洋地域でのモニタリングネットワークに貢献する人材を育成する。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

研修員が水銀のサンプリング・分析のための機材、分析法、標準手続き、品質管理手法等を学ぶことを通し、自国における水銀モニタリングの展開に向けた必要な取組及び課題が理解される。

**【対象組織】**

化学分析を行う公的調査・研究機関、保健衛生の検査機関

**【成果】**

1. 水銀の物性や環境動態・実態等科学的知見を整理し、現在問題となっている水銀の環境、健康リスクを説明できる。
2. 化学分析を行うに当たって、データの信頼性を確保するために配慮すべき点を理解し、分析やデータ解析手順を管理できる。
3. 日本の分析機関の施設や品質管理体制を視察し、各種媒体の水銀量の把握のための分析手法を説明できる。
4. 日本の環境モニタリングの実例により環境中の水銀量を把握するためのサンプリング手法を理解し、ケーススタディを通して現場へ適用できる。
5. アジア太平洋における水銀モニタリングネットワークの構築にあたって、参加者間で協力して取り組むべき活動や、必要とされる支援について議論できる。

**【対象人材】**

1. 化学分析を行うラボラトリの技師/環境媒体中の化学分析の経験3~10年あり/長期にわたりネットワーク運営を担当できる機関に所属
2. 臨床検査技師/実務経験3~10年あり/特に毛髪水銀分析技術を国内で普及する立場にある人材

**内 容**

- 以下の内容について、講義・見学・実習を行う。
1. 水銀の物理化学的及び毒性学的特性、UNEP世界水銀アセスメントによる環境動態・実態、水銀モニタリングについて（目的・意義等）
  2. 品質管理と品質保証、水銀の環境基準等規制の措置
  3. 水銀分析のための分析化学概論、各種環境媒体、生体試料等の分析法の紹介、各種機器の原理、操作手順の意義、水、土壌、魚介類、毛髪水銀分析実習
  4. 環境中水銀汚染実態調査に関するケーススタディ
  5. アジア太平洋水銀モニタリングネットワーク計画概要、研修員による自国の水銀モニタリング体制整備の検討

**本邦研修期間**

2019/9/2~2019/9/27

**担当課題部**

地球環境部

**所管国内機関**

JICA関西（業務一）

**関係省庁**

環境省

**実施年度**

2017~2019

**主要協力機関**

いであ株式会社

**特記事項  
及び  
ホームページ**